



年頭挨拶

岩手県知事 達増拓也

平成29年の年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。一般社団法人岩手県測量設計業協会及び会員の皆様方におかれましては、測量設計業界の健全な発展のため、日頃から技術力の向上や経営の改善に向けた取組を展開されるとともに、公共事業の推進等を通じて、岩手県の社会資本の整備及び産業の振興に多大なる御貢献を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災津波から6回目の新年を迎えましたが、岩手県では、岩手県東日本大震災津波復興計画において、「いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造」の実現のため、「安全の確保」、「暮らしの再建」、「なりわいの再生」を三つの原則に掲げ、被災者の居住の安定を図るための災害公営住宅の整備、まちづくりと一体となった防潮堤等の海岸保全施設の復旧・整備、災害に強く信頼性の高い交通ネットワークを構築するための復興道路の整備など、将来にわたって持続可能な地域社会の構築へ向けて取り組むとともに、昨年8月の台風第10号により甚大な被害が発生した地域においても、一日も早い復旧・復興を目指し、測量設計業協会の皆様方の御支援の下、全力で取り組んでいます。

近年多発する大規模災害や、老朽化が進んでいる公共土木施設の維持管理への対応など、県民の暮らしの基盤である社会資本の品質を左右する重要な業務であり、県民生活の向上や地域の発展に欠かすことのできない測量設計業が担う役割は、より一層大きくなっています。

岩手県では、技術力を有する県内企業の受注機会の確保に配慮しながら、技術と経営に優れた企業が活躍できる環境作りのため、測量業務を始めとする建設関連業務の委託契約方式について、平成22年7月から電子入札システムによる条件付一般競争入札制度を本格導入するとともに、平成24年度には、最低制限価格制度の改正のほか、簡易総合評価落札方式条件付一般競争入札の試行を開始しました。

昨年4月には、より適正な評価が行えるよう、評価項目を増やすとともに、実施方針及び技術提案の提出を求めない「簡易2型」を新たに導入するなど、簡易総合評価落札方式条件付一般競争入札の見直しを行い、入札制度の適正な運用とその改善に努めておりますので、貴協会におかれましても、これまで培ってこられた技術力を存分に発揮されることを期待申し上げます。

平成29年は、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会のレガシーを生かすとともに、復興とふるさと振興を力強く推し進めていく所存でありますので、貴協会の皆様方には、なお一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝、御多幸をお祈り申し上げて、新年の挨拶といたします。